

第32回館林市市民生活展報告



10月11日の月曜日、32回目を数える館林市民生活展が今年も開催された。健康づくり推進大会、スポーツレクリエーション祭と併せた「市民のつどい」としても23回目を数え、最高気温が29℃まで上昇する3連休の最終日、快晴の空の下に市民会館と周辺の広場、総合運動場など各会場には約3万人が訪れた（主催者発表）。

そうした中、NITEブースにも130人を超える来訪者があり、発火焼損したIH炊飯器や、たこ足配線と放熱不良で短絡発火したコードリールなどの展示物に興味深そうにのぞき込む来訪者や、NITEスタッフの説明に聞き入る姿が数多く見られた。

ここでもNITEが撮影、公開した各種の実験映像を再生するパソコンを設置。特にカセットこんろの破裂・爆発実験では「安全のため、ガスの量をかなり少なくして実験している」とのスタッフの説明に「何も知らないで新品のボンベを使って事故が起きたら大変なことになりそうだ。周囲でこうした使い方をしている人を見つけたら注意したい」と話す来訪者があつたほか、IHクッキングヒータの天ぷら油火災実験では「火を使わないから火災とは無縁だと思っていた」といった声も聞かれた。

また、館林市議会議員の来訪もあり、「製品安全に関する情報は、市の広報も活用して広く市民に伝える必要がある」と話していた。NITEでもインターネットを用いた情報発信は行っているところだが、まだまだそうしたツールでは情報が届きにくい部分がある。例えば折に触れ市の広報に取り上げてもらえれば一層の注意喚起が可能となると考えられる。

- 開催日時：平成22年10月11日（月）10：00～14：00
- 開催会場：館林市役所市民ホール
- 主 催：館林市民生活展実行委員会
館林市役所市民部市民協働課
- 出 展 者：館林市役所 市民協働課(館林市消費生活センター)、館林市くらしの会、館林栄養士会、(社)館林市シルバー人材センター、館林地区消防組合、館林ガス(株)、群馬県建築業組合連合会館林支部



市役所前の様子



屋外会場の様子



市民ホール内のNITEブース

<NITE出展内容>

- パネル等展示
「NITEロゴ」「IH炊飯器」「リモコンストーブ」「石油ストーブ」等タペストリほか 計6枚
- 事故品展示
素人修理で発火焼損したIH炊飯器、使用中ボンベが爆発したカセットこんろ（実験品）、破裂した金属製湯たんぽ（実験品）、電気こたつ（中間スイッチ）、ヒータ線が発火した電気カーペット等
- ビデオ放映（原因究明に取り組むNITEほか）、配布物（社告品一覧；A3両面写真入り、製品安全パンフ、身・守りハンドブック 2010、長期使用製品安全表示制度チラシ等）



NITEブースの様子



来場者の様子